

観光するなら、ここがおすすめ

田尻 燕栗沼・周辺水田 (かぶりぬま・しゅうへんすいでん) **古川 化女沼** (けじょぬま)

2つのラムサール条約湿地

秋から冬にかけて約10万羽の渡り鳥が飛来する「燕栗沼」。亜種ヒシクイの飛来地として日本最大級の湖「化女沼」。大崎市には2つのラムサール条約湿地がある。季節によっては朝の飛び立ちや夕方のねぐら入りのタイミングに、幻想的な光景が見られる。



【燕栗沼・周辺水田】 ■場所／大崎市田尻燕栗宇大沼地内 ■問合せ先／0229-38-1401(燕栗ぬまっこらぶ事務局)
■HP／<http://www5.familie.ne.jp/~kabukuri/>
【化女沼】 ■場所／大崎市古川小野宇遠沢地内 ■問合せ先／0229-28-1353(大崎市化女沼ダム観光資料館)

岩出山 内川 (うちかわ)

世界かんがい施設遺産に登録

伊達政宗公が米沢城から岩出山に移り住んだ際に、農業用水路及び自らの城の防備を目的として作られた「内川」。現在は美しい景観を楽しむために多くの観光客が訪れている。



■場所／大崎市岩出山字上川原町ほか
■問合せ先／0229-36-1277(大崎土地改良区)

田尻 加護坊山 (かごぼうやま)

目をみはる絶景に囲まれて自然を満喫

居久根が点在する大崎耕士のランドスケープを一望できる、標高224mの山。山頂からの360度のパノラマは一見の価値あり。パークゴルフも楽しめ、春の千本桜は圧巻。



■場所／大崎市田尻大沢字加護峯山178-1
■問合せ先／0229-39-0404(加護坊四季彩館)

未来へつなぐ「生きた遺産」

世界農業遺産



「持続可能な水田農業を支える大崎耕士の伝統的な水管理システム」は、世界農業遺産に認定された水田農業システム。やませによる冷害や洪水、渇水が頻発する厳しい自然条件の中、米づくりを中心とした水田農業により豊饒の大地「大崎耕士」を継承してきた。そこには農業用水の確保や栽培技術、排水対策など、農業農村の営みのあらゆる場面で水を巧みに管理する知恵や工夫、数多くの苦労があった。

この伝統的で巧みな水管理により支えられてきた水田農業の営みは、水田と水路、ため池、農家の暮らしを支える屋敷林、居久根(いぐね)と共に、水田が持つ豊かな湿地生態系や農文化を育成。「生きた遺産」として未来に伝えたい、素晴らしい農業システムとして現代にいきている。



生物多様性を育む農業

水田が持つ湿地生態系を支える生物多様性の保全に貢献。また湿地生態系は水稲の害虫抑制に機能している。



希少生物の生息を支える活動

希少生物が棲むため池での外来魚駆除や水環境の保全と共に、その生きものの生息を育む用水の水質認証による米のブランド化を行っている。



農業を支える巧みな水管理システム

厳しい自然条件の中、社会組織「契約講」を基盤とした農家主体の水管理体制によって巧みな水管理が行われてきた。



農業システムを継承する取り組み

自然と共生する農業によるブランド化や、発酵技術をいかした6次産業化、産直交流、次世代育成プログラムを実施。



ランドスケープ

生活の知恵が詰まった屋敷林「居久根」と水田、水路が織りなす農村景観が、大崎耕士全体に形づくられている。



農業と結びついた伝統的な農文化

水源地・奥羽山脈への民間信仰、豊穡への祈りや感謝を表す農耕儀礼・民俗芸能、餅食や発酵食など多彩な郷土食を創造。

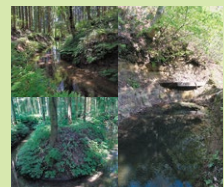
「大崎耕士」の伝統的な水管理システム
持続可能な水田農業を支える

強い季節風



VR体験スポット1
居久根(いぐね)

居久根とは屋敷林のこと。居久根のある生活には、防災、自給等の知恵が溢れており、生物多様性を育んできました。遠くから眺めるとまるで水田に浮かぶ森のようにも見えます。



VR体験スポット2
南原穴堰(みなみはらあなせき)

江戸時代・正保年間(1644~1647年)にすべて手掘りで作られた総延長1,880mの灌漑用水。約370年経過した今でも農業用水、生活用水として使われています。



世界農業遺産 動画で見る

大崎耕士を360°VRで体験しよう!

体験の手順

- 1 右記QRコードをお手持ちのスマホで読み込む。
- 2 Youtubeの再生画面が流れます。

<体験に際してのご注意>

- アプリ及びコンテンツのダウンロードには別途通信費及び大容量のパケット通信料が発生します。
- Youtubeアプリが必要になります。